6月議会 市政報告

第435回 市議会定例会 6月14日

はじめに

4月17日豊後水道の地震

4月17日深夜に、豊後水道でマグニチュード6.6の地震が発生し、高知県西部では震度6弱の揺れを観測しました。県内では重傷者2名を含む人的被害が3件、一部損壊の住宅被害が1件発生したほか、水道管の被害、街灯やブロック塀の倒壊などの被害が発生しました。被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。本市では震度3を観測しましたが、幸い被害はありませんでした。日頃から災害への備えを忘れず、引き続き、訓練や啓発を実施します。

連続テレビ小説関係

4月24日に香美市、香南市、南国市の3市長を共同代表とした物部川エリアでの観光博覧会実行委員会が開催されました。令和7年3月から開催予定の博覧会は、観光振興とともに、人々に「愛と勇気」を与え続けるやなせたかし先生の精神や功績を後世に引き継いでいくことを目的とし、やなせ先生ゆかりのキャラクターや観光地を活用した各種イベントや企画展や周遊キャンペーンの開催に向けて、取組を進めます。5月20日には、観光、交通事業者、中心市街地振興協議会などで組織する連続テレビ小説関連観光施策推進協議会を開催しました。官民一体となり、一過性でなく、将来にわたり持続的な誘客につながる取組を進めます。

総務

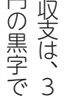
人権施策

一人ひとりの人権が尊重される心豊かなまちの実現のため、3月に「南国市人権施策推進基本計画」を策定しました。人権に関する各種施策を展開し、人権意識の高揚と理解促進をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向けた取組を推進します。

危機管理

防災

3月に発災時に機能する組織をつくることを主眼とした南国市地域防災計画の全面改定が完了しました。重点項目として危機対応の標準化や推進体制の強化や災害対応のDX化や災害リスク対策支援サービスを導入し、出水期に向けて気象災害のリスク判断などを位置付け、5月から民間気象会社の災害リスク対策支援サービスを導入し、出水期の機能強化を図り、3月に被災者生活再建支援システムを導入し、災害時情報収集カメラを1カ所設置しています。



財政

一般会計

令和5年度の形式収支は、3億4135万2千円の黒字です。実質収支は1億8325万6千円の黒字で、このうち財政調整基金に1億円の決算積立を行い、翌年度繰越金は8325万6千円です。

特別会計

住宅新築資金等貸付事業特別会計は、一般会計へ1246万2千円を繰出し、歳入歳出同額とし、特別会計を廃止しました。

土地取得事業特別会計は、3510万6千円の黒字です。

農業集落排水事業特別会計は、一般会計から1億3593万8千円を繰入し、1773万9千円の黒字です。また、4月1日から地方公営企業法の規定を一部適用し、特別会計を廃止しました。

国民健康保険特別会計は、一般会計から4億8772万1千円を繰入し、9176万4千円の黒字で、全額を財政調整基金に積立します。

介護保険特別会計は、一般会計から7億207万3千円を繰入し、2億519万7千円の黒字ですが、本年度の国などへの返還金の財源となります。

企業団地造成事業特別会計は、3661万1千円の黒字です。

後期高齢者医療保険特別会計は、一般会計から2億1435万7千円を繰入し、4366万2千円の黒字ですが、本年度の後期高齢者医療広域連合納付金の財源となります。

企画

公共交通

5月15日に地域公共交通会議が開催され、モデル地区でのデマンド型乗合タクシーの実証運行などの導入について協議を行いました。

移住促進

昨年度の移住者実績は46組96人で、前年度と比べ31組65人の増でした。

民生

3月末の人口は4万5886人であり、前年同時期と比べて183人の減でした。高齢化比率は31.9%で、前年度と同じ比率です。

子育て支援

放課後児童施設

市が支援を行い整備していました民営学童施設まみい学童クラブが、昨年度末に完成しました。運営を開始した4月には、入所者が定員の40人にほぼ達しました。

環境

一般廃棄物処理状況は、昨年度の総収集量は1万2271トンで、対前年度380トンの減であり、可燃ごみは対前年度3.4%の減でした。

農林水産

10年後の目指すべき農地利用の姿を示し、農用地の効率的で総合的な利用を図るための地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)について、各地域の現状や課題、担い手の情報などを把握するための座談会を1月から3月にかけて市内13地区で開催し、3月に結果をホームページで公表しました。

国営ほ場整備事業

新たに下島工区、浜改田西部工区で整備された農地で営農が開始されたほか、能間工区では民間事業者により約1.2ヘクタールの次世代型ハウスの建設が進められています。

営農

露地野菜の推進品目として、双日土佐農人株式会社がタマネギの大規模産地化に向けた本格的な栽培を行っており、5月に収穫した令和6年産タマネギ4ヘクタール分について輸送、販路拡大も含めた実証を行っています。

商工観光

海洋堂スペースファクトリーなんこくは、昨年度の入込客数は、6万4412人となり、開館からの来館者は約21万人となりました。

建設

社会資本整備総合交付金事業による市道整備は、主要な道路である市道稲吉篠原線ほか12路線のうち、2路線を発注しており、他路線も順次発注に向け進備を進めています。

農村地域防災減災事業における県営ため池事業は、植田地区の新池上・新池下の堤体工事の詳細設計を行っています。

地籍調査

3月末現在で、約41平方キロメートルの調査を完了し、進捗率は約34%です。

昨年度で県道春野赤岡線以南の津波浸水想定区域ほぼ全域の地籍調査を完了しました。

都市整備

篠原土地区画整理事業は、換地計画案を篠原土地区画整理審議会にて同意いただき、公衆の縦覧を経て、5月末に高知県の認可を受けることができました。今後、換地処分の内容を記載した通知書を、土地所有者に発送していきます。

住宅

住宅耐震化促進事業は、事業開始の平成15年度から昨年度末までの累計件数は、耐震診断1930棟、耐震改修工事に至った住宅は997棟でした。改修工事は、補助上限を最大165万円まで引き上げて、5月から申請受付を開始しており、受理件数は昨年度より増加しています。

上下水道

上水道

工事関係は、基幹管路の耐震対策として、稲生水源地から配水池までの送水管布設替え工事の調査測量設計を進めています。また、十市西地区の石綿管布設替え工事は、昨年に引き続き、工事を実施しています。

消防

本年の火災発生状況は、4月末現在で8件と、昨年同時期と比較して10件の減でした。

消防署は、5月に、多重衝突事故により多数の傷病者が発生したとの想定で、救助・救出訓練を実施しました。また、水難事故の被害を最小限に抑えることを目的とし、南国警察署と合同で、国分川で水難事故対応のための効果的な連携強化や適切な装備の取扱要領の確認を行いました。

消防ポンプ自動車更新整備計画は、後免分団の消防ポンプ自動車が5月に配備され、平成22年度から進めていた消防ポンプ自動車更新整備計画が完了しました。

教育

学校教育

本年度の入学式や始業式を例年より3日遅い4月10日に変更し、また、特別支援教育支援員を増員したことで、余裕をもって新学期のスタートを切ることができました。香長中学校と鳶ヶ池中学校では、本年度の新入生から制服を変更しています。

生涯学習

新図書館におけるサービス提供のあり方を示し、準備を円滑に進めるための「南国市立図書館サービス計画」を3月に策定しました。

▲詳細はこちらから